

授業実践

(4) 第3時

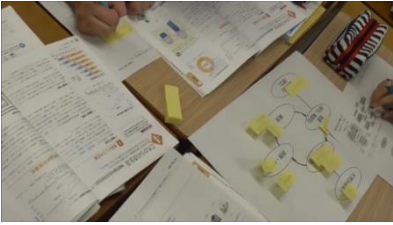
(第3時)

《A Lの視点》

主：主体的な学び

対：対話的な学び

深：深い学び

段階	学習活動	形態	A L	教師の支援と手立て	教材等
導入 5分	1 前時の学習内容を確認する。	斉		○衣服に関する消費生活と環境との関係を再確認した。	
	2 本時の学習内容を知る。			○本時の内容を説明した。	
	課題 衣服に関わる問題を様々な側面から考え、衣生活の在り方を見直し、持続可能な社会を目指して、環境負荷を減らすためにどのようなことができるかを考えよう。				
展開 40分	3 持続可能な社会について再確認する。	斉	主	○図を示し、持続可能な社会とはどのような社会かを確認した。	
	4 衣服の生産から廃棄までのライフサイクルを確認し、それぞれの過程でどのような問題があるかを考える。	個 G	主 対	○衣服の生産から廃棄までの過程における問題点を考えることで、持続可能な社会づくりの視点につなげるようにした。 ・個人で思い付く内容を付箋に記入させた。 ・付箋の内容をグループでまとめ、どのような問題があるかを理解させた。	
					
	5 グループ協議の結果を発表する。	G 斉	深	○出された意見を持続可能な社会と関連付けながら、まとめていった。 出された意見のまとめと主な補足説明(吹き出し)を図1にまとめています。	世界で起きている様々な問題が、身近な消費行動と結び付いており、環境や社会に配慮した消費行動が必要であることを理解している。
					【知識・理解】 (ワークシート)
	6 エシカル消費という視点から、持続可能な衣生活のために、環境や社会に配慮した消費行動が必要なことを知る。	斉	深	○目の前のことだけではなく、地球規模で物事を考えていく必要があることを理解させた。 ※エシカル消費とは 人と社会、地球環境のことを考慮して作られたものを購入あるいは消費すること	
	7 自分の消費生活を振り返り、持続可能な社会を目指して、これからできることを考える。	個	主	○一人一人の適切な意思決定と消費行動が、世界の様々な問題の解決につながっていくことを伝え、自分にできることを考え、実際に行動するように促した。	自分の消費生活を振り返り、持続可能な社会を目指して、自分たちができることに興味をもって、取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度】 (ワークシート)

ま と め 5 分	8 本時のまとめをする。	斉	○持続可能な社会を目指して、環境負荷の少ないライフスタイルを確立する必要があることを伝えた。	
-----------------------	--------------	---	--	--

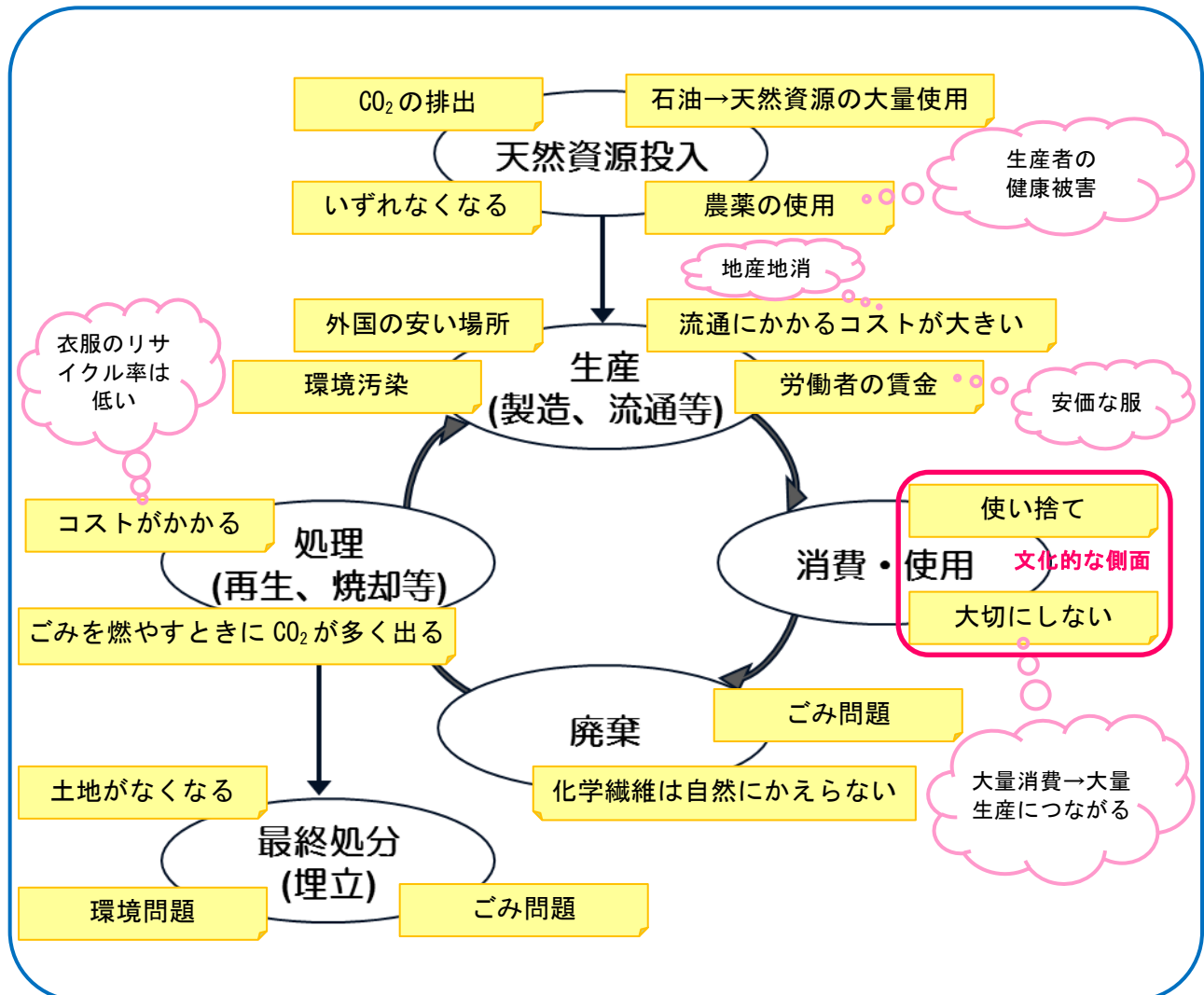


図1 衣服のライフサイクルの過程における問題点(クラスの意見をまとめたもの)